

＜参考＞調査結果のまとめ

1. 現在の施策への評価について

①満足度について

問6の設問での「満足」と「ほぼ満足」を合わせた『満足』の上位の項目では、生活環境や自然環境などの分野への割合が高く、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』の下位の項目では、産業、観光、定住などの分野への割合が高くなっています。

【問6 35の施策に対して、どの程度満足しているか】

◎上位5位（「満足」「ほぼ満足」の割合）

■今回調査

	満足	ほぼ満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	不明・無回答
33. 水道水の安定的な供給	23.0	49.1	19.6	4.2	1.3	2.8
34. 下水道の安定的な運営	19.3	49.6	23.3	3.5	1.3	3.0
8. 快適な生活環境の保全	8.9	46.5	33.1	7.1	1.4	3.0
7. 水と緑の保全と活用	10.9	43.5	34.0	6.9	1.6	3.0
9. 地球温暖化防止対策・循環型社会の構築	5.8	37.4	45.3	6.9	1.5	3.2

◎下位5位（「やや不満」「不満」の割合）

■今回調査

	満足	ほぼ満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	不明・無回答
29. 中心市街地のにぎわいの創出	1.6	12.0	38.2	29.8	14.8	3.6
26. 工業・商業の振興	1.8	8.7	47.4	26.4	11.7	4.1
22. 観光の振興	2.2	12.5	43.5	27.6	10.4	3.7
4. 定住対策の充実	1.9	14.0	45.5	26.1	9.2	3.2
27. 雇用・労働環境の充実	1.6	11.8	48.7	24.8	8.9	4.1

②前回調査と同様の点数化による比較

令和4年度に実施した調査と同じ基準に基づき、満足度をそれぞれ点数化し、各施策の満足度を評価しました。

今回調査では満足度による順位について、前回調査（評価度による順位）と比較すると、上位では、生活環境分野が高い順位を維持しており、自然環境分野は前回よりも点数が高くなっています。また、下位では、中心市街地のにぎわいづくりや、産業振興の分野において点数が伸びていない傾向がうかがえます。

【点数化の方法】

満足度	
満足	+5点
ほぼ満足	+4点
どちらとも言えない	+3点
やや不満	+2点
不満	+1点

上記の点数に回答者数の割合を乗じ、それぞれの項目の点数とします。

(例)

	満足	ほぼ満足	どちらとも言えない	どちらかといえど不満	不満	不明・無回答
1. 市民参画・協働の推進	2.7%	17.2%	62.6%	9.8%	3.5%	4.1%

$$\text{点数} = 5 \times 2.7\% + 4 \times 17.2\% + 3 \times 62.6\% + 2 \times 9.8\% + 1 \times 3.5\% = 2.93$$

◎上位5位（満足度による点数化）※前回調査（R4調査は評価度による点数化）

■今回調査

	満足度
33. 水道水の安定的な供給	3.80
34. 下水道の安定的な運営	3.73
7. 水と緑の保全と活用	3.46
8. 快適な生活環境の保全	3.45
9. 地球温暖化防止対策・循環型社会の構築	3.30

■<参考>前回調査（R4調査）

	評価度
2. 市からの情報発信の充実	3.48
28. 上下水道の安定的な供給・運営	3.42
29. 市民バスなど公共交通網の整備	3.41
7. 交通安全や防犯に対する取組	3.38
6. 災害や火災を防ぐための取組	3.28

◎下位5位（満足度による点数化）※前回調査（R4調査は評価度による点数化）

■今回調査

	満足度
29. 中心市街地のにぎわいの創出	2.45
26. 工業・商業の振興	2.51
22. 観光の振興	2.57
27. 雇用・労働環境の充実	2.60
4. 定住対策の充実	2.63

■<参考>前回調査（R4調査）

	評価度
25. 若者や女性が住みたくなるまちづくり	2.26
24. 中心市街地のにぎわいの創出	2.27
22. 企業誘致や工業・商業の振興	2.38
12. 結婚・妊娠・出産に関する施策の充実	2.59
23. 雇用・労働環境の充実	

■今回調査

番号	満足度	施策
1	2.93	市民参画・協働の推進
2	2.96	情報の発信と共有
3	2.90	多様な交流と連携の推進
4	2.63	定住対策の充実
5	2.84	災害等危機管理体制の充実
6	3.22	日常生活の安全確保
7	3.46	水と緑の保全と活用
8	3.45	快適な生活環境の保全
9	3.30	地球温暖化防止対策・循環型社会の構築
10	2.75	持続可能な行財政経営の推進
11	2.72	切れ目のない子育て支援の推進
12	2.95	子育て環境の整備
13	2.95	学校教育の充実
14	3.00	生涯学習の推進
15	3.05	芸術文化・スポーツの振興
16	2.93	高齢者の生活支援の充実
17	2.84	障がい者・生活困窮者の自立支援の促進
18	2.91	地域で支えあう福祉社会の推進
19	3.07	社会保障制度の適切な運営
20	3.13	健康づくりの推進
21	3.02	いきいきとしたライフスタイルの実現
22	2.57	観光の振興
23	2.77	農業の振興
24	2.71	林業の振興
25	2.89	水産業の振興
26	2.51	工業・商業の振興
27	2.60	雇用・労働環境の充実
28	2.88	うるおいと緑のあるまちの形成
29	2.45	中心市街地のにぎわいの創出
30	2.76	災害に強いまちの形成
31	2.95	快適な道路機能の強化
32	2.91	住宅対策の推進
33	3.80	水道水の安定的な供給
34	3.73	下水道の安定的な運営
35	2.95	総合交通体系の整備

■<参考>前回調査 (R4 調査)

番号	評価	施策
1	3.15	各地区の地域活動の活性化
2	3.48	市からの情報発信の充実
3	2.82	市民の声の市政への反映
4	3.22	各種イベントの開催による人々の交流の活発化
5	2.63	市外からの転入者・移住者を増やすための取組
6	3.28	災害や火災を防ぐための取組
7	3.38	交通安全や防犯に対する取組
8	3.08	自然保護・環境保全・地球温暖化対策への取組
9	2.90	財政健全化や行政改革への取組
10	2.86	市内の公共施設の充実
11	2.99	子育て支援に対する取組
12	2.59	結婚・妊娠・出産に関する施策の充実
13	3.21	学校教育の充実
14	3.20	生涯学習(芸術・スポーツ)の推進
15	3.18	高齢者への生活支援や介護の充実
16	3.07	障害福祉サービスの充実
17	2.99	住民同士が相互に支え合い助け合う地域づくり
18	2.86	生活困窮者への自立支援
19	3.21	地域医療体制や健康づくりへの取組の充実
20	2.94	市の魅力の発信や観光の振興
21	2.94	農林水産業の振興
22	2.38	企業誘致や工業・商業の振興
23	2.59	雇用・労働環境の充実
24	2.27	中心市街地のにぎわいの創出
25	2.26	若者や女性が住みたくなるまちづくり
26	2.74	道路や公園の整備などのまちづくり
27	2.64	住宅を取得しやすくなるための対策
28	3.42	上下水道の安定的な供給・運営
29	3.41	市民バスなど公共交通網の整備

※前回調査(R4年調査)は、項目数(施策数)が今回調査よりも少ないこと、また、評価項目(点数)が違うことに留意する必要がある。

※前回調査の点数について

「評価できる(5点)」、「やや評価できる(4点)」「どちらとも言えない(3点)」「やや評価できない(2点)」「評価できない(1点)」で算出。

③転入者と出身者の比較（満足度について）

問6の『満足』『不満』に対する割合について、転入者、出身者（居住年数別でのクロス集計）でみると、『満足』の上位の項目では、転入者・出身者ともに生活環境分野への割合が高く、その他、転入者では自然環境、出身者では日常生活の安全についての割合が高くなっています。一方、『不満』の下位の項目では、転入者、出身者で順位の違いはありますが、産業、観光、定住などの分野への割合が高くなっています。

【問6 35の施策に対して、どの程度満足しているか】

◎上位5位（「満足」「ほぼ満足」の割合の合計が高かった分野）

■今回調査（転入者）

	割合(%)
33. 水道水の安定的な供給	70.0
34. 下水道の安定的な運営	67.5
8. 快適な生活環境の保全	55.6
7. 水と緑の保全と活用	54.5
9. 地球温暖化防止対策・循環型社会の構築	42.1

■今回調査（出身者）

	割合(%)
33. 水道水の安定的な供給	73.5
34. 下水道の安定的な運営	69.8
8. 快適な生活環境の保全	55.4
7. 水と緑の保全と活用	
6. 日常生活の安全確保	44.1

◎下位5位（「やや不満」「不満」の割合の合計が高かった分野）

■今回調査（転入者）

	割合(%)
29. 中心市街地のにぎわいの創出	38.7
22. 観光の振興	36.2
4. 定住対策の充実	34.4
26. 工業・商業の振興	34.1
27. 雇用・労働環境の充実	31.8

■今回調査（出身者）

	割合(%)
29. 中心市街地のにぎわいの創出	48.3
26. 工業・商業の振興	41.1
22. 観光の振興	39.9
4. 定住対策の充実	36.0
27. 雇用・労働環境の充実	35.4

◎転入者と出身者での意識差

問6の『満足』『不満』に対する割合について、転入者、出身者別にみると、特に差が大きい分野は、以下の項目となっています。

■転入者と出身者で『満足』の割合で差があった項目（上位）

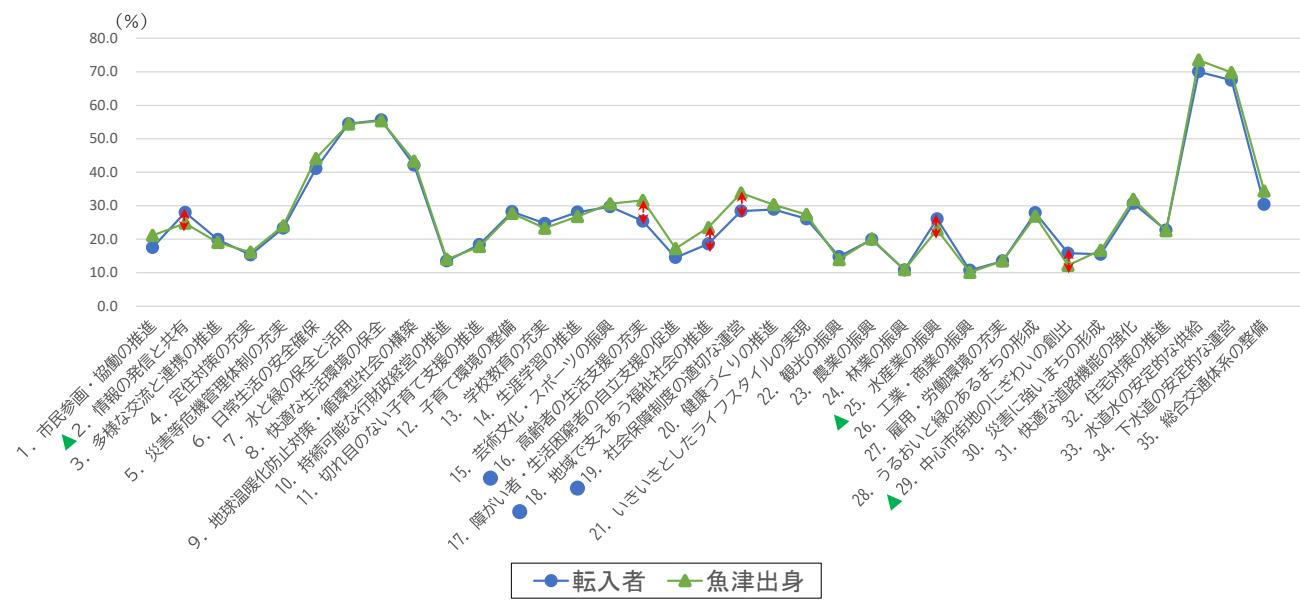
※転入者>出身者	割合差(ポイント)
29. 中心市街地のにぎわいの創出	3.6
2. 情報の発信と共有	3.2
25. 水産業の振興	

※転入者<出身者	割合差(ポイント)
16. 高齢者の生活支援の充実	6.2
19. 社会保障制度の適切な運営	5.4
18. 地域で支えあう福祉社会の推進	4.9

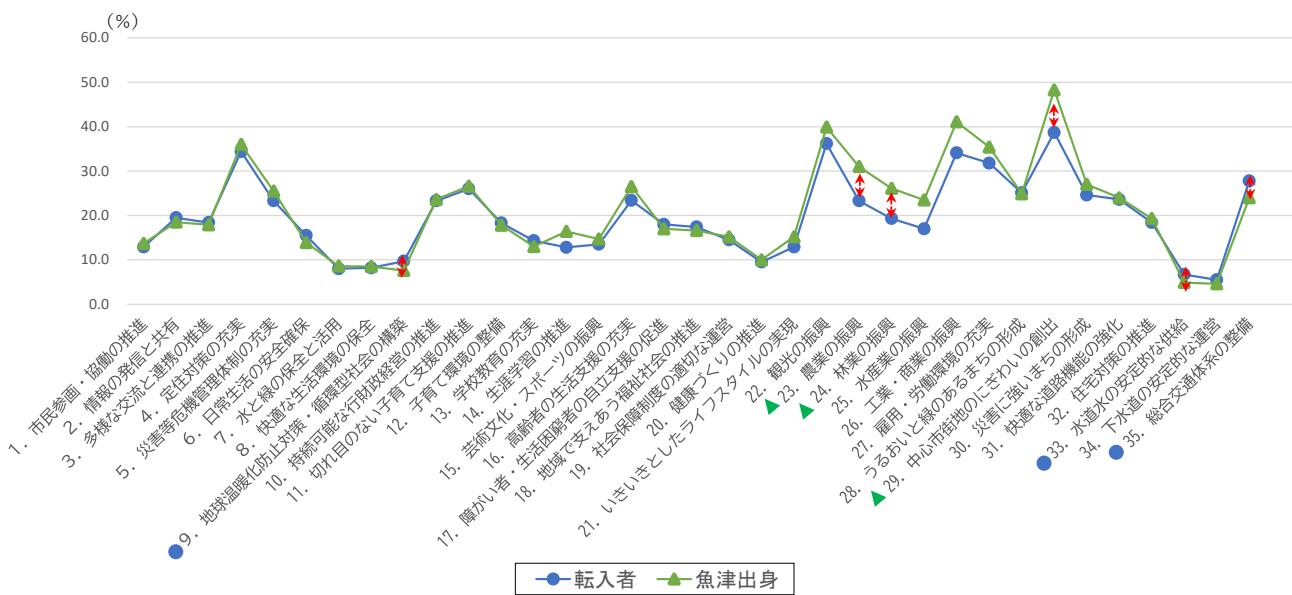
■転入者と出身者で『不満』の割合で差があった項目（上位）

※転入者>出身者	割合差 (ポイント)	※転入者<出身者	割合差 (ポイント)
35. 総合交通体系の整備	3.8	29. 中心市街地のにぎわいの創出	9.6
9. 地球温暖化防止対策・循環型社会の構築	2.1	23. 農業の振興	7.7
33. 水道水の安定的な供給	1.8	24. 林業の振興	6.8

【満足度】



【不満度】



④住みやすいと感じる人、住みにくいと感じる人の比較（満足度について）

問6の『満足』『不満』に対する割合について、「住みやすさを感じている人」と「住みにくいと感じている人」（問2住みごこち別でのクロス集計）でみると、『満足』の上位の項目では、住みやすいと感じている人・住みにくいと感じている人ともに、生活環境分野、日常生活の安全についての割合が高くなっています。一方、『不満』の下位の項目では、住みやすいと感じている人・住みにくいと感じている人で順位の違いはありますが、産業、観光、定住などの分野への割合が高くなっています。

※「住みやすいと感じている人」[回答者数 1,188 人]

・・・問2住みごこちの設問で「とても住みやすい」+「比較的住みやすい」と回答した人

「住みにくいと感じている人」[回答者数 81 人]

・・・問2住みごこちの設問で「比較的住みにくい」+「住みにくい」と回答した人

【問6 35の施策に対して、どの程度満足しているか】

◎上位5位（「満足」「ほぼ満足」の割合の合計が高かった分野）

■今回調査（住みやすいと感じている人） ■今回調査（住みにくいと感じている人）

	割合(%)
33. 水道水の安定的な供給	78.2
34. 下水道の安定的な運営	74.3
8. 快適な生活環境の保全	63.0
7. 水と緑の保全と活用	61.8
6. 日常生活の安全確保	49.4

	割合(%)
33. 水道水の安定的な供給	51.8
34. 下水道の安定的な運営	49.4
8. 快適な生活環境の保全	30.8
7. 水と緑の保全と活用	24.7
6. 日常生活の安全確保	22.2

◎下位5位（「やや不満」「不満」の割合の合計が高かった分野）

■今回調査（住みやすいと感じている人） ■今回調査（住みにくいと感じている人）

	割合(%)
29. 中心市街地のにぎわいの創出	39.8
26. 工業・商業の振興	36.4
22. 観光の振興	35.4
4. 定住対策の充実	29.6
27. 雇用・労働環境の充実	29.4

	割合(%)
4. 定住対策の充実	80.2
29. 中心市街地のにぎわいの創出	76.5
22. 観光の振興	69.1
16. 高齢者の生活支援の充実	65.4
27. 雇用・労働環境の充実	64.2

◎住みやすいと感じている人と住みにくいと感じている人での意識差

問6の『満足』『不満』に対する割合について、住みやすいと感じている人、住みにくいと感じている人の軸でみると、特に差が大きい分野は、以下の項目となっています。

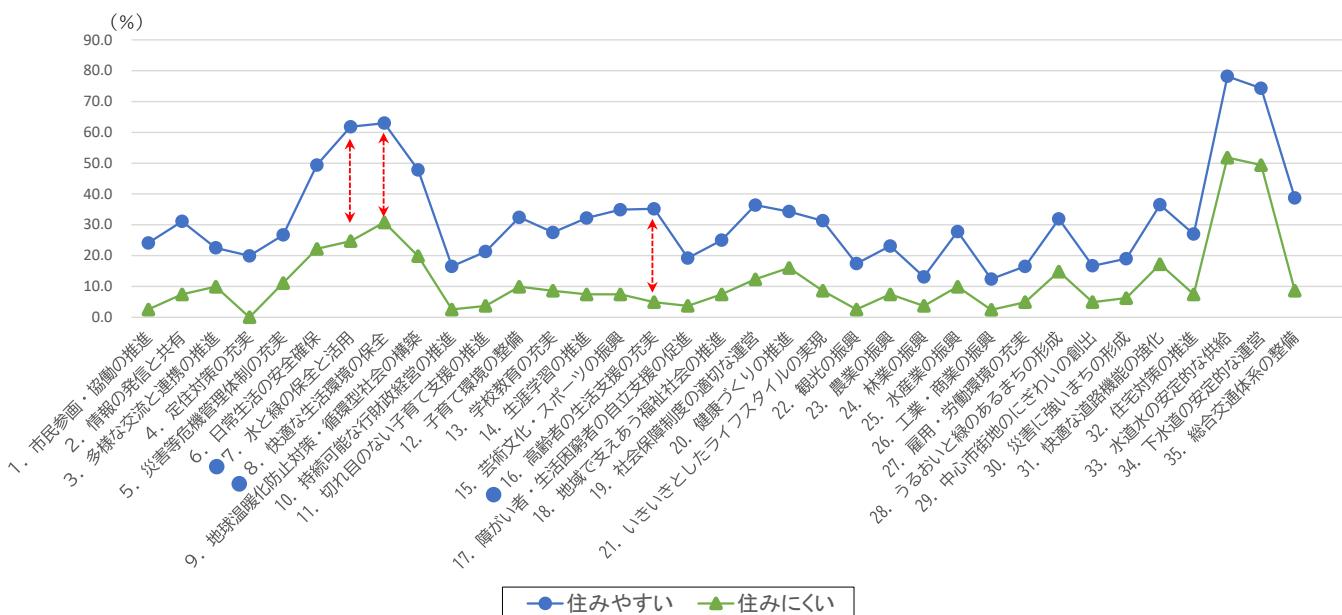
■住みごこちで『満足』『不満』の割合で差があった項目（上位）

『満足』 住みやすい>住みににくい	割合差 (ポイント)	『不満』 住みやすいく住みににくい	割合差 (ポイント)
7. 水と緑の保全と活用	37.1	4. 定住対策の充実	50.6
8. 快適な生活環境の保全	32.2	16. 高齢者の生活支援の充実	46.4
16. 高齢者の生活支援の充実	30.3	35. 総合交通体系の整備	40.2

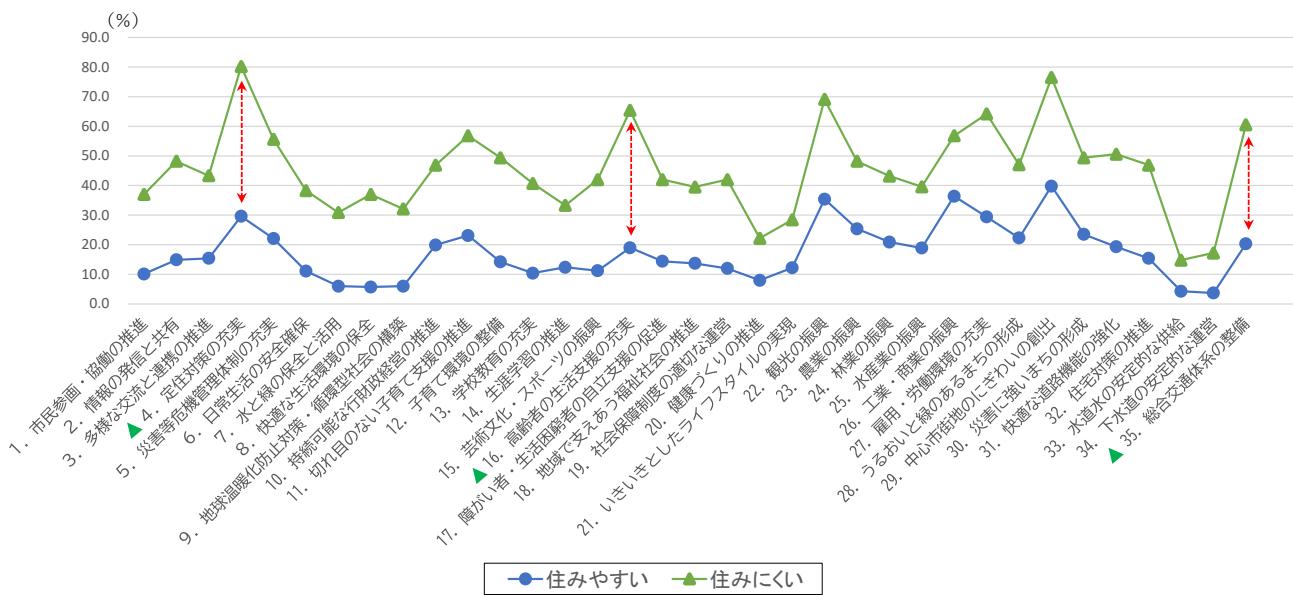
※『満足』はすべての項目で、住みやすいと感じている人が住みににくい人の割合を上回っている

※『不満』はすべての項目で、住みやすいと感じている人が住みににくい人の割合を上回っている

【満足度】



【不満度】



2. 今後、力を入れるべき施策について

①力を入れるべき施策について

問7の今後、力を入れるべき施策についての上位の項目では、高齢者への支援や子育て支援などの福祉分野、中心市街地のにぎわい創出、災害対策、定住対策の分野について、回答の割合が高くなっています。前回調査でも、高齢者への支援や子育て支援、定住対策などは割合が高く、引き続き、取組が求められている分野となっています。

【問7 35の施策に対して、今後、特に力を入れるべき施策】

◎上位5位（回答割合が高かった分野）

■今回調査

	割合(%)
16. 高齢者の生活支援の充実	28.9
11. 切れ目のない子育て支援の推進	27.0
29. 中心市街地のにぎわいの創出	24.4
30. 災害に強いまちの形成	23.8
4. 定住対策の充実	23.6

■<参考>前回調査（R4調査）

	割合(%)
25. 若者や女性が住みたくなるまちづくり	39.3
15. 高齢者への生活支援や介護の充実	29.4
22. 企業誘致や工業・商業の振興	28.6
12. 結婚・妊娠・出産に関する施策の充実	25.7
5. 市外からの転入者・移住者を増やすための取組	24.5

②転入者と出身者の比較（力を入れるべき施策について）

問7を転入者、出身者（居住年数別でのクロス集計）でみると、今後、力を入れるべき施策についての上位の項目では、高齢者への支援や子育て支援は力を入れるべき高い順位として共通しています。また、災害対策、中心市街地のにぎわい創出、定住対策、観光振興の分野については、順位が異なっていますが、回答の割合が高い分野となっています。

【問7 35の施策に対して、今後、特に力を入れるべき施策】

◎上位5位（回答割合が高かった分野）

■今回調査（転入者）

	割合(%)
16. 高齢者の生活支援の充実	28.6
11. 切れ目のない子育て支援の推進	26.3
30. 災害に強いまちの形成	24.0
4. 定住対策の充実	23.7
29. 中心市街地のにぎわいの創出	23.1

■今回調査（出身者）

	割合(%)
16. 高齢者の生活支援の充実	28.8
11. 切れ目のない子育て支援の推進	27.7
29. 中心市街地のにぎわいの創出	24.9
22. 観光の振興	24.0
30. 災害に強いまちの形成	24.0

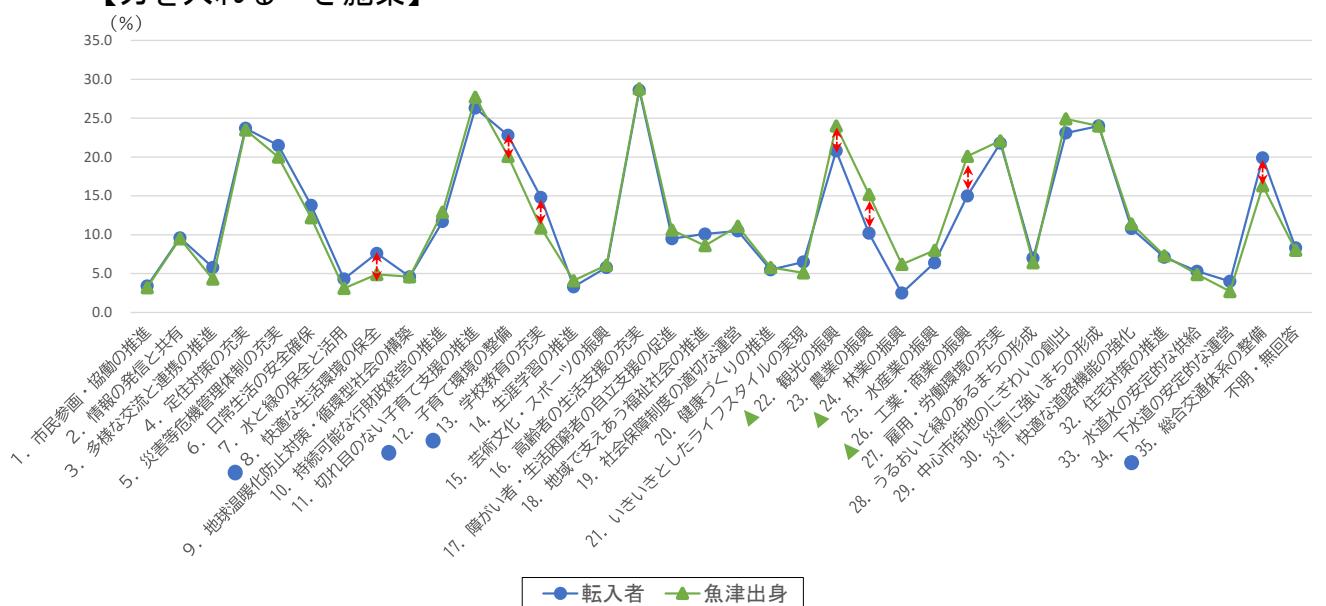
◎転入者と出身者での意識差（力を入れるべき施策について）

問7を転入者、出身者別にみると、特に差が大きい分野は、以下の項目となっています。

■転入者と出身者で回答割合に差があった項目（上位）

※転入者>出身者	割合差 (ポイント)	※転入者<出身者	割合差 (ポイント)
13. 学校教育の充実	3.9	26. 工業・商業の振興	5.1
35. 総合交通体系の整備	3.6	24. 林業の振興	3.7
8. 快適な生活環境の保全	3.2	22. 観光の振興	3.2
12. 子育て環境の整備			

【力を入れるべき施策】



③住みやすいと感じる人、住みにくいと感じる人の比較（力を入れるべき施策について）

問7について、「住みやすさを感じている人」と「住みにくいと感じている人」（問2住みごこちの設問でのクロス集計）の軸でみると、今後、力を入れるべき施策についての上位の項目では、高齢者への支援や子育て支援、中心市街地のにぎわい創出は、共通して力を入れるべき施策として高い順位となっていますが、「住みにくいと感じる人」では総合交通体系の整備が最も高い分野となっています。

※「住みやすいと感じている人」[回答者数 1,188 人]

・・・問2住みごこちの設問で「とても住みやすい」 + 「比較的住みやすい」と回答した人

「住みにくいと感じている人」[回答者数 81 人]

・・・問2住みごこちの設問で「比較的住みにくい」 + 「住みにくい」と回答した人

【問7 35の施策に対して、今後、特に力を入れるべき施策】

◎上位5位（回答割合が高かった分野）

■ 今回調査（住みやすいと感じている人）

	割合(%)
16. 高齢者の生活支援の充実	28.6
11. 切れ目のない子育て支援の推進	28.5
4. 定住対策の充実	25.0
30. 災害に強いまちの形成	24.7
22. 観光の振興	24.5

■ 今回調査（住みにくいと感じている人）

	割合(%)
35. 総合交通体系の整備	35.8
11. 切れ目のない子育て支援の推進	29.6
16. 高齢者の生活支援の充実	
12. 子育て環境の整備	24.0
29. 中心市街地のにぎわいの創出	24.7

◎住みやすいと感じている人と住みにくいと感じている人での意識差

問7を住みごこちを軸にみると、特に差が大きい分野は、以下の項目となっています。

■住みごこちで回答割合に差があった項目（上位）

住みやすい>住みにくい	割合差 (ポイント)
4. 定住対策の充実	7.7
22. 観光の振興	7.2
5. 災害等危機管理体制の充実	6.9

住みやすいく住みにくい	割合差 (ポイント)
35. 総合交通体系の整備	21.0
8. 快適な生活環境の保全	6.3
12. 子育て環境の整備	5.9

【力を入れるべき施策】

